

令和 2 年度西尾市地域公共交通活性化協議会事業報告

1 公共交通の再編

- ・R2.4月に公共交通の再編を実施。
 - ① 六万石くるりんバスを3路線から8路線に拡大
 - ② 市内を運行するバスの運賃を200円に統一
 - ③ いっちゃんバスについて、小型車両で各地域をより細かくカバー。商業施設を中心にバス停を新設。一部地域にフリー乗降区間を設置
 - ④ いこまいカーは事前登録制に変更。デマンド型からタクシー事業に制度変更。西尾地区では拠点的なバス停等に目的地を集約。幡豆地区では商業施設や医療機関に目的地を拡大
- ・公共交通時刻表を改訂、再編後の情報をまとめて掲載。



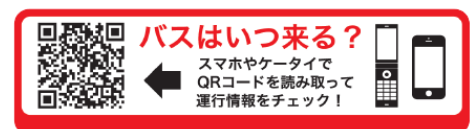
2 バス利便性の拡大・新型コロナウイルス感染症対策

- ・タクシー事業者運行維持緊急補助金

新型コロナウイルス感染症の影響により大幅な減収となっている市内タクシー事業者に対し、タクシー事業の維持確保を図るとともに、車内における感染予防対策を支援するため補助金を交付。一般タクシー車両1台につき10万円（1事業者上限200万円）。
- ・コミュニティバス車両を抗ウイルス・抗菌施工

抗ウイルス・抗菌効果のあるコーティング剤を、手すりやシート、床、天井など車両内部全体にスプレーガンで噴霧。施工が終了した車両には、「抗ウイルス・抗菌施工済」のステッカーを貼付。
- ・コミュニティバスの運賃支払いにPayPayを導入

西尾市とPayPay(株)との連携協定に基づく取り組みとして、バス利用者の利便性の拡大と、新型コロナウイルス感染症対策を目的に、キャッシュレス決済PayPayを導入。
- ・コミュニティバスの位置情報・混雑状況が見える化
 - ① バスロケーションシステム…バス車内にタブレット端末を搭載することで、GPSなどを利用してバスの位置情報を収集し、バス利用者へ提供
 - ② バス車内混雑状況リアルタイム配信システム…バス車両に搭載のタブレット端末で乗降人数をカウントし、バス車内の混雑状況を5段階でリアルタイムに配信。バス利用者が混雑している便を避けるなどの判断ができ、新型コロナウイルス感染症対策としても期待



3 名鉄西尾・蒲郡線利用促進

- ・西幡豆駅、東幡豆駅、西浦駅、形原駅に2次交通としてレンタサイクルを実施。
- ・グルメ情報などを満載した地区別4種類の沿線ガイドマップを改訂。
- ・InstagramとFacebookで公式アカウント「にしがま線は、今日も走る」を開設。風景の中の名鉄電車、沿線のグルメやスポットなどを、写真や動画で毎日配信。
- ・にしがま線PR動画として「電車編」「西尾編」「蒲郡編」の3本を制作。InstagramアカウントやFacebookページをはじめ、市公式YouTube、LINE、twitter、ホームページなどで配信。
- ・親子利用、団体利用に運賃補助を実施。
- ・沿線ウォーキングイベントにおいて、愛知大学の学生グループによる御駅印を配布。
- ・名鉄フリーきっぷを利用したスタンプラリー企画「西尾と蒲郡のんびり鉄道の旅」を実施。車両にオリジナル系統版を掲出。



4 その他

- ・愛知県自動運転社会実装プロジェクト推進事業
12/11～13、「生活・観光混在エリアにおける MaaS」をテーマに、名鉄西尾駅～西尾市歴史公園を自動運転タクシーのコンセプト車両が運行。

